

お客様各位

2021年10月27日
北興化学工業株式会社

変更登録のお知らせ

平素より弊社製品をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
此の度、2021年10月27日付で下記農薬の適用が変更登録されましたので、お知らせ致します。

農薬名

第23834号 ゴウケツバスター箱粒剤

適用変更の内容

- ・ 作物名「稲」の適用病害虫名に「いもち病」を追加する。
- ・ 作物名「稲（箱育苗）」の使用量「高密度には種する場合は1kg/10a（育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当り50～100g)」を追加する。

【変更後の適用内容】

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジネフランを含む農薬の総使用回数	トルプロカルブを含む農薬の総使用回数
稲（箱育苗）	カムシ類	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	2回以内 (移植時までの処理は1回以内、本田での湛水散布、無人航空機散布、投げ入れは合計1回以内)
	ウカ類 ニカメテウ ツマグロコバイ イネドロイムシ イネズガムシ イナコ類 イネカラバエ フタボトヤガ いもち病 もみ枯細菌病 内穎褐変病 白葉枯病	高密度には種する場合は1kg/10a (育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50～100g)	移植3日前～ 移植当日				
稲	いもち病 イネドロイムシ イネズガムシ	1kg/10a	移植時		側条施用		

次ページへ続く

前ページから続く

【変更後の使用上の注意事項（変更部分）】

- 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約 5L）1 箱当りに乾粒として 200 から 300g 程度を高密度には種する場合は、10a 当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が 1kg/10a までとなるよう、育苗箱 1 箱当りの薬量を 50 から 100g までの範囲で調整すること。
- 薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理を行うこと。
- 本剤の所定量を育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水してから田植機にかけて移植すること。育苗箱に高密度には種した場合は、とくに注意して葉に付着した薬剤を払い落とすこと。

変更登録後の製品情報の詳細はこちら [（農薬製品・安全データシート（SDS）一覧）](#) からご参照下さい。

以上